

2025年 安全報告書



大山観光電鉄株式会社

目 次

1	経営責任者からのメッセージ・・・・・・・・・・	1
2	安全基本方針等・・・・・・・・・・	2
	【1】当社の安全基本方針	
	【2】当社の安全行動規範	
3	安全管理体制と方法・・・・・・・・・・	2～4
	【1】安全管理体制	
	【2】安全管理方法	
	【3】経営責任者および安全統括管理者の現業巡視等	
	【4】従業員との対話	
4	安全目標と安全重点施策・・・・・・・・・・	4
	【1】安全目標	
	【2】安全重点施策	
5	輸送の安全確保のための取り組み・・・・・・・・	5～8
	【1】安全対策工事等の実施	
	【2】教育・訓練の実施	
6	事故等の状況と再発防止の取り組み・・・・・・・・	8～9
	【1】鉄道運転事故等	
	【2】災害（地震や暴風雨、豪雪など）	
	【3】輸送障害（30分以上の遅延や運休）	
	【4】インシデント（事故の兆候）	
7	行政指導等に対する措置の状況・・・・・・・・	9
8	お客さま等とのコミュニケーション・・・・・・・・	9
	【1】関係機関との協働	
	【2】お客さまの安全確保	
	【3】お客さま等からのご意見・ご要望	
	【4】その他	

1 経営責任者からのメッセージ

「2025年安全報告書」の公表にあたり

平素より、大山ケーブルカーをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。この「安全報告書」は、鉄道事業法第19条の4項に基づき、安全輸送に対する当社の取り組みについてご報告するものです。

当社は、小田急グループの『お客さまの【かけがえのない時間】と【ゆたかな暮らし】の実現に貢献します』というグループ経営理念、および『大山それは“出会い”の山“ふたたび廻り会える喜びをあなたに”それが私たちの願いです』の社是に基づき、輸送の安全を第一とし、大山へお越しのお客さまに多くの「上質と感動」をお届けすることを心がけております。また、企業の社会的責任を果たすために、「法令遵守」をはじめとするコンプライアンスの観点で、日々の業務に関して基本に忠実に、ルールを守り誠実に行動することを徹底し、取り組んでおります。

本年7月に開業60周年を迎えることができました。これまで、当社の安全輸送を支えていただいたすべての関係者の皆さまに心より感謝を申し上げます。

安全確保のための設備更新については2014年から2017年にかけて、橋梁や土留擁壁の補強、全線のレール・枕木の交換および電気設備の改修工事など、大規模な工事を実施するとともに、2015年には50年ぶりにケーブルカーの車体を更新いたしました。その後も、自然災害リスクへの対応を含む安全関連の設備投資を継続して実施するとともに、開業当時の巻上機器、車体台車枠の健全性を確認し、従業員一丸となって安全で安心な運行に取り組んでおります。

結びに、この「2025年安全報告書」をご一読いただき、当社の【安全への取り組み】について、皆さまの率直なご意見、ご助言などを賜りますようお願い申し上げます。



2025年9月

大山観光電鉄株式会社
代表取締役社長 齋藤 謙司

2 安全基本方針等

【1】当社の安全基本方針

- (1) 輸送の使命は安全輸送であるとの認識に立ち、全ての事業に優先する。
- (2) 施設・車両等の整備は、万端怠りなく実施し、安全の確保に努める。

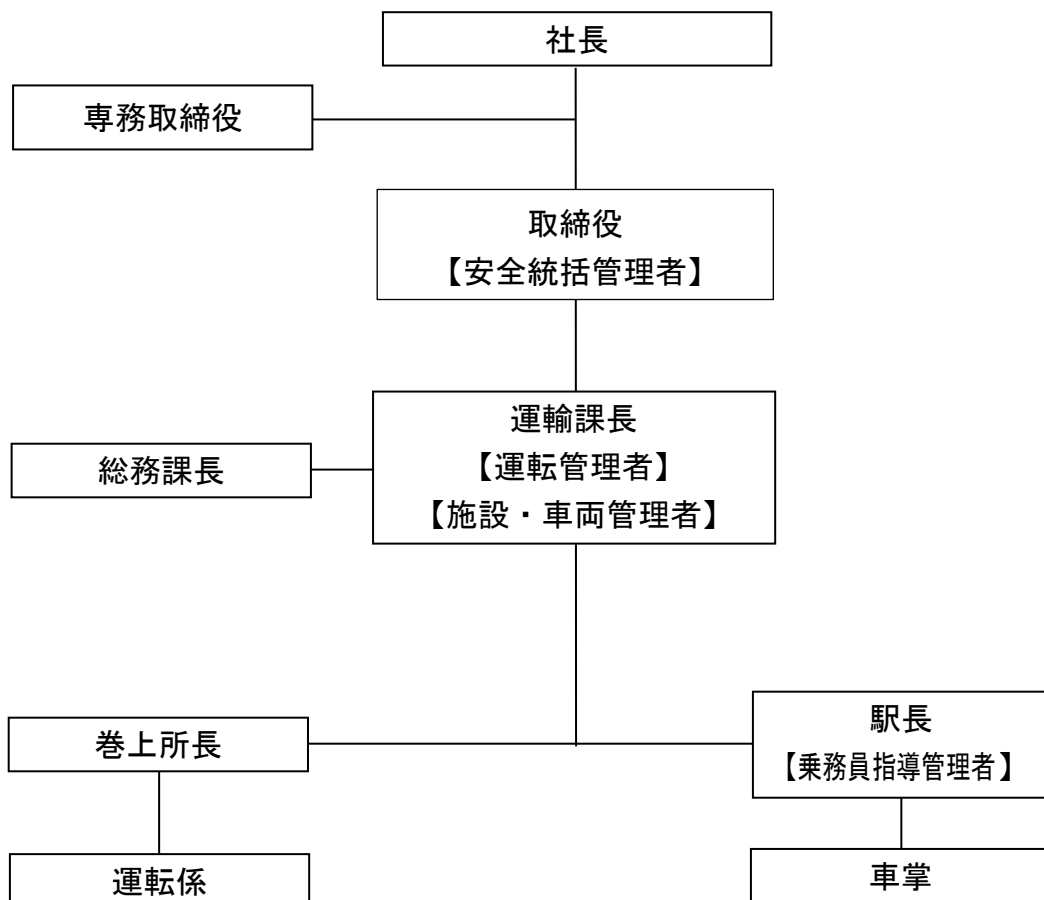
【2】当社の安全行動規範

- (1) 輸送の安全に関する状況については、常に把握し理解するよう努める。
- (2) 情報は透明性を確保し、漏れなく迅速に、正確に伝える。
- (3) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

3 安全管理体制と方法

【1】安全管理体制

当社は、以下の安全管理体制の下、各々の役割に応じた機能を発揮することでお客さまの輸送の安全を確保いたしております。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負います。
取締役 【安全統括管理者】	鉄道施設、車両、運転取扱いの安全性および相互の部門間の整合性を確保するとともに、安全確保を最優先し輸送業務の実施および各管理部門を統括管理いたします。
運輸課長 【運転管理者】 【施設および車両管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運行計画の設定および変更、乗務員の運用、列車の運行の管理、運転係および乗務員の育成ならびに資質の保持その他運転に関する業務を管理するほか、施設および車両の維持管理に関する事項を統括いたします。
駅 長 【乗務員指導管理者】	運転管理者の指揮の下、駅務・車掌の資質の維持に関する事項を管理いたします。
巻上所長	運転管理者の指揮の下、運転の資質、ならびに施設・車両の維持に関する事項を管理いたします。

【2】安全管理方法

（1）安全マネジメント体制

安全管理規程において、社長を最高責任者とし、安全確保に関する業務を統括する「安全統括管理者」を中心に、月1回安全マネジメント会議を開催し、監督官庁からの情報発出はもとより安全輸送に関わる事項の審議取りまとめから対策を講ずるまで展開を図ってまいりました。

輸送障害等の対応については、安全マネジメント会議において多面的な分析と対策の協議を行うなど全社一体の取り組みを実施し、その成果が着実に全社員まで浸透するよう安全管理に反映させてまいりました。

（2）安全文化の醸成

安全マネジメント体制の確立のため、ヒヤリ・ハット情報の収集のための仕組みを整備し、ヒヤリ・ハットの重要性を再認識した安全文化を醸成する指導と展開に取り組んでまいりました。

その結果、ヒヤリ・ハットを報告することの重要性・必要性が社内に浸透してきています。

【3】経営責任者および安全統括管理者の現業巡視等

経営責任者である社長および安全統括管理者は、定例的に現業巡視はもとより年度当初や安全総点検時等に、安全に関するメッセージを発信し、全社員までの浸透活動を行っております。

【4】従業員との対話

企業の果たすべき社会的責任を履行するため、コンプライアンスに関する社内教育を実施するとともに、経営責任者の現業巡視等の際に、コンプライアンスに関するトップメッセージを発信しています。

4 安全目標と安全重点施策

【1】安全目標

2024年度の安全目標は【安全を最優先とした柔軟な判断と行動の実践】および【インシデント・労働災害ゼロ】としました。近年頻発化・激甚化している自然災害に一人ひとりが安全を最優先にその時々に応じた柔軟な判断と行動ができるよう準備を行い、いざという時に実践するとともに、運転事故・輸送障害・労働災害のゼロを達成するよう、この一年間取り組んでまいりました。

【2】安全重点施策

2024年度の安全目標を達成するため、以下の安全重点施策を定め、PDCAサイクルを活用して安全マネジメント会議で進捗状況を確認し、取り組みました。

- (1) 規程・基準類の厳守と基本作業の実行
指差確認称呼および復唱の徹底
- (2) 「未然防止」「再発防止」に対する取り組み
取扱いミスの分析力向上と再発防止対策の検討、教育・訓練の実施、ヒヤリ・ハット情報の積極的な提出と共有による事故防止
- (3) 災害に強い設備・体制の構築
異常時総合訓練の実施、運転教育・車掌教育の実施、災害・異常気象時の点検強化、安否確認訓練の実施、台車・巻上機など老朽設備の点検強化
- (4) 業務の効率化
業務改善の推進と駅・巻上所の連携強化、働きやすい職場づくり
- (5) 関係機関・お客さま等との協働
各種行事へ積極的な参加、SNS等による情報発信、お客さまからの要望意見の反映、声かけ・サポートの実施
- (6) 労働災害ゼロ
作業前の指示徹底、作業環境の整備
- (7) 体調の自己管理
コロナウイルス等感染防止

5 輸送の安全確保のための取り組み

【1】安全対策工事等の実施

(1) 2024年度の実績

総額約37百万円を投資し、主に下記の工事等を実施しました。

① 巻上機器健全度調査

巻上機器の健全性を確認するため、2023年度に引き続き探傷検査を実施しました。検査の結果、運行に支障を及ぼす致命的な欠陥はなく、発見された軽微な亀裂は溶接により補修しました。



探傷検査作業



溶接補修作業

② 索条（ロープ）交換工事

ケーブルカーの“命綱”である索条(920m)を新しいものに交換しました。



③ 沿線樹木伐採工事

台風発生時等の倒木による運行支障リスクの軽減を図るため、線路に近接する斜面上の樹木を伐採しました。



樹木伐採作業施工前



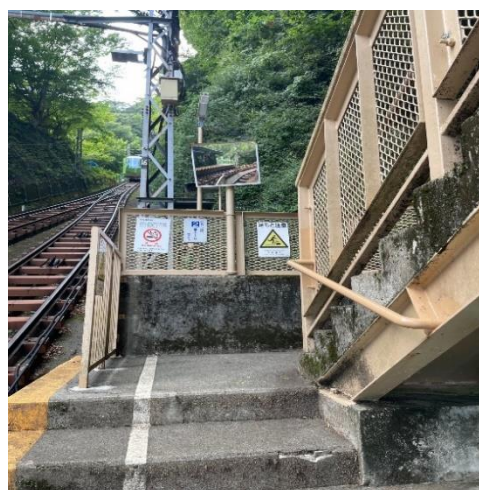
樹木伐採作業中

④ 阿夫利神社駅・大山寺駅通路区分手摺等新設工事

各駅ホーム段差でのお客さまの転倒防止を図るため、阿夫利神社駅、大山寺駅に手摺を新設し、安全性の向上を図りました。



阿夫利神社駅通路区分手摺新設



大山寺2番ホーム手摺新設

(2) 2025年度の計画

総額約21百万円を投資し、主に下記の工事等を実施いたします。

- ① 車体台車枠・索輪健全度追跡調査
- ② 大山寺駅電車線交換
- ③ 車両電源装置更新工事
- ④ 沿線樹木伐採工事

【2】教育・訓練の実施

（1）社内教育・訓練

①異常時総合訓練

自然災害に伴う事故発生時の対応力を向上させるため、降雨による土砂崩れによりケーブルカーが駅間で急停車して、車内でお客さまが胸部を強く打ち、心肺停止、他のお客さまも怪我されたことを想定した訓練を警察、消防、消防団に参加していただき実施しました。

本社員および現業員が参加し、異常時の連絡通報、お客さまの避難誘導、救護処置等の訓練を行い、迅速な対応が図れるよう従業員一丸となって取り組みました。

今後も、訓練を重ねて異常時の迅速な対応力の向上を図ってまいります。



異常時総合訓練

②事故処置訓練

現業員の個々の事故対応力を向上させるため、ケーブルカー走行中、線路上に障害物を発見し非常停止させたことを想定した、事故処置訓練を実施いたしました。

訓練終了後は、個々の訓練参加者に対する評価を行うとともに、職場ごとに意見交換を行い、事故発生時の対応方法の改善を図っております。



事故処置訓練

③鉄道係員安全啓発プログラムの受講後のフォローアップ

鉄道係員として安全意識の高揚を図るため、小田急電鉄の安全啓発施設「安全深思塾」において、鉄道係員安全啓発プログラムを受講しました。今年度の業務考査において、安全統括管理者立会のもと、全員に「安全深思塾」での受講を振り返り安全に対する思い、安全確保のためにどのように行動する、また、実践しているのかを口頭試問し、日々の業務で安全に対する意識が醸成されていることを確認いたしました。

④その他の社内教育・訓練

- ・運転教育、車掌教育
- ・照明等設置訓練
- ・ヒヤリ、ハット・KYM 教育
- ・1年検査、車輪交換教育
- ・安否確認訓練
- その他、年間教育訓練計画に基づき実施

⑤ 社内教育・訓練の主たる実績と反映

ヒューマンエラー防止に繋がるヒヤリ・ハットの収集および各種教育・訓練を積極的に行った結果、毎年、ヒヤリ・ハット情報が報告されるようになり、迅速に防止策を策定できるようになりました。

また、各種訓練は、迅速な異常時対応と復旧を主眼に実施し、安全かつ迅速に復旧できるよう、従業員一丸となって研鑽に努めてまいりました。

(2) 社外研修

①小田急グループ研修

小田急グループ全体で実施している研修に参加しました。

(3) 保安監査の対応について

鉄道事業法第56条第1項の規定に基づく保安監査が2024年10月9日(水)から10日(木)で実施され、法令違反に抵触する不適合事項はありませんでした。

今年度も、種々の研修を計画、受講して一層の安全マネジメントの充実へと反映させてまいります。

6 事故等の状況と再発防止の取り組み

【1】鉄道運転事故等

2024年度、鉄道運転事故等の発生は、0件でした。

【2】災害（地震や暴風雨、豪雪など）

2024年度、自然災害に伴う事故等の発生は、0件でした。

【3】輸送障害（30分以上の遅延や運休）

降雨量が規制値を超えたため運転見合せ 6件（計92本の運休）

【4】インシデント（事故の兆候）

2024年度、インシデントの発生は、0件でした。

7 行政指導等に対する措置の状況

2024年度監督官庁である国土交通省からの行政指導はありませんでした。

8 お客さま等とのコミュニケーション

【1】関係機関との協働

当社は、大山へお越しいただくお客さまに楽しんでいただき、癒しのひとときをお過ごしになれますよう万全な運行体制で臨んでおります。伊勢原市消防本部から救急救助活動の協力要請があった場合には、ケーブルカーの支援運行を行っております。

【2】お客さまの安全確保

お客さまの階段歩行時や駆け込み乗車の注意喚起を実施するなど、ホーム上の安全確保に努めてまいりました。

今年度も、お客さまによる事故の未然防止を図るよう努めてまいります。

【3】お客さま等からのご意見・ご要望

関係機関との連携を図り、大山へお越しいただくお客さま等からのご意見・ご要望を収集し、社内で共有のうえ対応しております。

【4】その他

本報告書に関わるご意見、ご感想やご要望など下記の連絡先にお寄せください。

大山観光電鉄株式会社 〒259-1107 神奈川県伊勢原市大山667

（本社）電話：0463-95-2135 FAX：0463-95-2482

（平日9：00～12：00、13：00～17：30）

（大山ケーブル駅）電話／FAX：0463-95-2040

（平日9：00～16：30 土休日9：00～17：00）